

ケース8

平成13年6月定例会一般質問
(議会だより127号)



議員 個性を尊重し、創造性をはぐくむ教育を実現するため、クラブ活動や部活動をメインにした学校の自由選択制を取り入れては。

こたえ



教育長 本市では児童数の増加や学校の規模からして、難しい状況です。将来的には導入も視野に入れながら、検討の必要があると認識している。

そして

戸田市では、平成17年度から保護者・児童が自らの進学先である中学校を選択できるようにすることで学習意欲を高め、特色ある学校づくりを推進することを目的に、戸田市立中学校の学校選択制度を導入しています。



戸田中



戸田東中



美笹中



喜沢中



新曽中



笹目中



あれから〇年! あの質問はどうなった?

市の行政全般に対し質問できるのが、一般質問です。本定例会でも多くの議員が質問を行いました。もちろん質問して、それっきりとなるわけ

ではありません。担当部局で慎重に調査・研究し、実現に至らなかったもの、成果が早く出てくるもの、10年・20年後に大輪の花を咲かせるものなど……



▲本会議の傍聴風景

傍聴者アンケートの集計結果

平成23年6月定例会分

6月定例会における傍聴者は、本会議で82人でした。傍聴した方のうち、25名の方々に回答をいただきました。

◇議会を傍聴しての意見・感想は12件いただきました。貴重なご意見等は、今後の議会運営や議会だよりの編集の参考とさせていただきます。

- 時々しか傍聴していないが、戸田市の発展、よき市になるように期待しています。
- 質問の内容が災害に関することなので、特に関心がありました。議員の質問の途中で休憩が入り、時間の余裕がないときは聞くことができなくなるので、検討してほしいです。
- 議員の質問事項は事前に知らせてあると思うので、職員は、きちんと対応すべきである。
- 午前中、休憩に入るときに、何時から再開するか案内がなかったです。
- 生ぬるくてストレスがたまる。
- 意外と議員さんのやじが多くて、驚いたことがあります。市民の代表なので、品位を持っていただきたいです。
- もう少しきばきと進行できないものでしょうか。時間がかり過ぎる気がしました。
- 執行部の答弁は、できるだけ自分の言葉で(原稿の棒読みではなく)。
- 傍聴者が少ない。多くの市民が参加するようなPRを。
- 議員の行動が気になりました。



日時間にかかわらず速やかに災害対策の任務に



議員 重大な震災が発生した場合、職員が

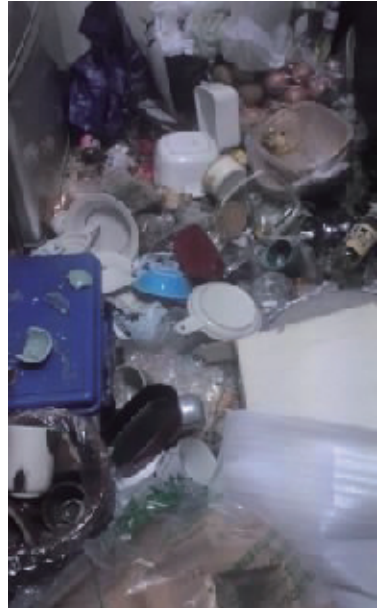
「緊急の課題と認識」
つかなければならない。その要請にこたえ得る第一の条件は、住所が近いことだ。職員の市内在住率は44%と低い。遠方に住む職員に市内転入を勧め

総務部長 今後の課題としたい。

議員 迅速な対応を図るため、災害復旧費の項目どりを改め、相当金額を計上する考えは

財務部長 研究課題としたい。

ないか。災害対策基金の創設も検討すべきだ。



▲3.11震災直後の散乱する市内高層マンションの室内

一般質問

危機管理の強化を

細井 幸雄 議員

総務部長 機会をとらえ勧めている。

議員 液状化被災自治体では支援策を打ち出しているが、被災家屋の復旧と地盤改良は高額な費用を要し、個人負担の額も大きい。建築前の地盤改良は、比較すれば安価だ。補助制度を検討できないか。

総務部長 検討したい。